

北区きらりと光るものづくり顕彰



坂元社長(中央)と社員の皆様

きらめき企業部門

R&Bエンジニアリング株式会社

所在地 北区王子 2-22-5

電話 03-3919-2060

ホームページ <http://www.rbe.co.jp/>

受賞の概要

R&Bエンジニアリングが製造・販売する自走式ミニクレーン「マイティークレーン」は、墓石の据え付け用に考案され、1974年に本格生産が始まりました。今ではカーテンウォール設置や工場設備更新など様々な用途に使用されています。

コンパクトさゆえ、各種制限区域や狭隘地の工事で重宝されていますが、足場等の仮設材を減らし、工期短縮ができると同時に、作業安全性の向上が図られることも「マイティークレーン」の利点です。

同社ではヨーロッパや東南アジアの他、新たに北米などへの海外展開を進めると同時に、排ガス問題をクリアするための電動モデル、各所にセンサーを配置し事故を未然に防ぐ転倒防止装置、作業記録用のデータロガー、吊り荷走行アタッチメントなど、オプション開発も積極的に進めています。

同社は市場の要望を取り入れながら、「マイティークレーン」の機能・性能の向上と市場の開拓に取り組んでいます。



1.7tマイティークレーン



現場活用例

北区きらりと光るものづくり顕彰



中村社長(中央)と社員の皆様

きらめき企業部門

ダイナトロン株式会社

所在地 北区滝野川7-2-13ベルテックス5F

電話 03-3940-9081

ホームページ <http://www.dynatron.co.jp/>

受賞の概要

プリント基板の製造は、エレクトロニクス産業技術の発展と共に、NC 制御を利用した自動製造へと進展しました。ダイナトロンはこれに対応して、プリント基板設計 CAD から出力されるデータを読み込み、プリント基板製造の原版となるフォトマスク作画用データを編集する CAM ソフト「PC-AutoCAM」をパソコン用にパッケージ化し、従来のワークステーションに比べ、リーズナブルな価格での CAM の供給を始めました。

また、同社はプリント基板の製造技術の進歩に対応した製造関連装置の開発も始めました。配線パターンの微細化に対応してプリント基板寸法を CAM データから自動測長する「ガーバー基準自動 2 次元測長機」、インクジェットでエッチングレジストを基板に直接印刷する「ダイレクト・インクジェット・レジストプリンター」、最近では、プリント基板上の銅箔やめっき厚を自動測定する「膜厚自動測定システム」など画期的な製品を世に送り出してきました。

同社は、ISO14001 を 2006 年に取得、ソフト開発を通し、積極的に環境に貢献する会社を目指しています。また東日本大震災以降、年 2 回の業界展示会や東京国際フォーラムで開催するプライベートセミナーで毎年東北復興支援を続けています。

ガーバー・NC編集ステーション PC-AutoCAM



ソフトウェア製品

レーザーフォトプロッター RPシリーズ



- ・最小線幅8μm
- ・1.7分/高速作画
- ・ローコスト1600万円～
- ・アップグレードポリシー

ハードウェア製品



北区きらりと光るものづくり顕彰



田中社長(前列右から2人目)と社員の皆様

きらめき企業部門

株式会社田中医科器械製作所

所在地 北区田端新町 2-14-18

電話 03-3894-7700

ホームページ <http://www.e-tanaka.co.jp/>

受賞の概要

刀鍛冶の流れをくむ金子治三郎氏に師事した田中栄之助氏が1916年に根岸で独立開業、これが田中医科器械製作所の始まりです。当時は欧米の医療技術を移入して医療の発達を図っていた時代で、ドイツ流の医療器械を模倣した鉗子やメスをつくっていました。

戦後は田端で操業を始め、外科一般の器械を製作していました。1968年に千葉大学医学部で整形外科を専門にする鈴木教授が考案した手術方法に応じた器械の製作を依頼され、腰椎の神経が圧迫されている部分の除圧、固定を経腹膜的行うための器械「千葉大式前方固定手術器械」を開発しました。続いて「千葉大式側彎症手術器械及びインプラント」を開発、これ以降、様々な手術方法に応じた同社オリジナルの手術器械を世に送り出し、医療器械業界で揺るぎない地位を築いてきました。

同社は最新鋭の設備を導入して中間工程の効率化を図っていますが、医師が器械を使う感覚を大切に、個々の医師の要望に応えるため、手仕事による仕上げを基本にしています。そして、次世代を担う若年技能者の採用と育成に努めています。



手術用器械



精巧な仕上りで医療現場を支えています

北区きらりと光るものづくり顕彰



藤澤会長(後列右から2人目)と社員の皆様

きらめき企業部門

木工房藤澤株式会社

所在地 北区堀船 2-3-12

電話 03-3911-4692

ホームページ <http://www.mokkobo-f.com/>

受賞の概要

木工房藤澤は、1945年に北区堀船で創業しました。創業当初は専ら木製建具を製作していました。

1960年代になり、鉄筋コンクリート造や住宅の洋風化が進んで、木製建具や伝統的な障子、襖の需要が大きく減りましたが、同社は和物建具の技能を活かして注文住宅向けの高級建具や欄間、店舗用什器、家具などの製作に進出しました。また事務所や店舗、ホテルなどの内装といったように事業を広く展開して基盤を築いています。

同社の藤澤会長は、和物建具の技能の特徴は「木肌を活かすこと」と言います。この技能の特徴を大事にして、高級家具の製作や内装の造作に活かしたことが同社の事業の多角化に結びつきました。機械化が可能な作業は機械に置きかえて効率化を図り、壁材や大きな建具などにも対応できることも事業の幅を広げる背景になっています。

同社では次世代を担う若手技能者の育成にも熱心で、建具技能士や家具技能士といった技能検定の取得を奨励しています。



製作例：あやめ障子



製作例：企業受付カウンター